鳩森だより

HATOMORI ELEMENTARY SCHOOL

【教育目標】
感じ かかわり つくる

11月号

渋谷区立鳩森小学校
令和8年10月30日

TEL (3352)3780　FAX (3352)4810　ホームページ https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310246

「道徳授業地区公開講座　ありがとうございました」

校　長

10月24日(土)に道徳授業地区公開講座が行われました。

3校時のパネルディスカッションでは、保護者の方にパネラーとして、自身の子ども時代やお仕事のお話をしていただきました。保護者、地域の方対象の時間に高学年やちはと学級の子どもたちが参加して話を聞くというシステムは私自身初めてでしたが、子どもたちにとっては大変貴重な時間になったと思っています。子どもたちは、親が子どもの頃の体験談をとても興味関心をもって聞きます。そのことが今のお父さんお母さんの人間像を創り上げてきた一部になっていること、自分も今の時代を糧に成長していこうと無意識にも脳裏に焼き付くのではないかと考えています。

パネラーの保護者の方をはじめとして、御来校された保護者、地域の皆様、どうもありがとうございました。

さて、本校の今年度の道徳の重点とする価値項目は「礼儀」と「感謝」です。

前期は「礼儀」として基本である「挨拶」を教職員で大切にしようと確認しました。9月の全校朝会時に、正門で朝元気に挨拶をする子どもたちが増えてきたと伝えました。

後期は始業式で「感謝」「ありがとう」について話しました。何かしてもらっているのに、ついお礼を言わないで済ませてしまうことがなかったかを振り返りました。家庭での食事作り、お掃除や洗濯や買い物、学校で必要な物品の準備等…。学校でも先生は準備をきちんとして毎日の授業に臨みますし、調理員さんは安全でおいしい給食を作っています。事務主事さんや用務主事さん、支援員さんや介助員さん、鳩森のスタッフ全員が自分の仕事を進めて安心・安全な学校を維持しています。毎日の繰り返しなのでやってもらうことが当たり前という感覚になってしまいがちですが、感謝の気持ちをもって、それを言葉で示すことがお互いの関係をよりよくすることにつながります。

私たちは、様々な人がそれぞれの立場で頑張っているから安心して生活することができています。まずは鳩森小の生活の中から始めて、何かしてもらっていることを意識したら感謝の気持ちをもてるとよいと思いました。

「11月はふれあい月間です」

11月は今年度2回目の「ふれあい月間」です。いじめの未然防止、全ての子どもたちが健全に育つ環境を作ることを目指しています。お子様のことで気になることや心配なことがございましたら本校教職員やスクールカウンセラーに御相談ください。最後に、このセリフをお届けします。これは私が好きなドラマ「相棒」で隣の課の角田課長がドラマの中で言ったセリフです。じ～んときたのでビデオを再生してメモしました。(ドラマを知らない方はごめんなさい。)

「成功なんかしなくていいよ。聖人君子にもならなくていい。毎日何とか生き抜くこと。人を傷付けないこと、自分も傷付けないこと。ちょっとだけ余裕があるときは、誰かに優しくしてあげるのもいい。そんな風に生きて、ほんの一瞬でも誰かの救いになれるんなら、それだけで立派なもんだ！」